

各位

2026 年 3 月 4 日

会 社 名 株式会社ステムセル研究所  
代表者名 代表取締役社長 清水 崇文  
(コード番号：7096 東証グロース)

---

「自家臍帯血由来 iPS 細胞の製造・保管および臨床応用」を見据えた研究成果を  
第 25 回日本再生医療学会総会にて発表いたします

---

この度、第 25 回日本再生医療学会総会において、株式会社ステムセル研究所（東京都港区、代表取締役社長 清水崇文、以下「当社」）と株式会社 iPS ポータルとの共同研究「臍帯血を用いた自家 iPS 細胞の製造及び保管プロセス開発と臨床応用に関する検討」に関する成果が報告されます。

本発表は、当社が有する臍帯血の採取・保管ノウハウと、iPS ポータルが有する自家細胞由来 iPS 細胞の製造技術を融合し、自家臍帯血由来 iPS 細胞の製造および保管体制の確立、ならびに将来的な臨床応用を目指す取り組みに関するものです。

当社は、引き続き本共同研究を推進し、具体的なサービス化に向けた体制整備および事業化を進めてまいります。

【ポスター演題名・概要】

「Establishment of Clinical-Grade iPSCs from Umbilical Cord Blood for Personalized Medicine」  
・ 20 年超の長期保管臍帯血から、臨床応用可能な iPS 細胞を安定的かつ高効率に樹立し、将来の自家臍帯血由来 iPS 細胞治療の可能性が示されました。

※第 25 回日本再生医療学会総会 総合プログラム 102P

[https://site.convention.co.jp/jsrm2026/assets/pdf/jsrm\\_program.pdf](https://site.convention.co.jp/jsrm2026/assets/pdf/jsrm_program.pdf)

2025 年 9 月 30 日発表 共同研究に関するプレスリリース

<https://stemcell.co.jp/information/3884/>

※本件がステムセル研究所の業績に与える影響は軽微であります。

■ 株式会社ステムセル研究所について

当社グループは「あたらしい命に、あたらしい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに、産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯」や「さい帯血」等の周産期組織由来の細胞バンク事業の展開及びそれらの細胞等を利用した新たな治療法の開発を行っております。そしてこの事業基盤をベースとして、再生医療やフェムテック等関連する領域での事業開発及び投資等による、グローバル&サステイナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

設 立 年 月 日 : 1999 年 8 月 5 日 (東証グロース上場 : 7096)  
資 本 金 : 7 億 480 万円  
代表取締役社長 : 清水 崇文 (しみず たかふみ)  
本 社 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-21-19 東急虎ノ門ビル 2 階  
TEL/ホームページ : 03-6811-3230 / <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>  
グループ会社 : STEMCELL INNOVATIONS PTE. LTD. (シンガポール)、株式会社ミルケア

**【本件に関する報道関係のお問い合わせ・ご質問はこちら】**

株式会社ステムセル研究所 総合企画本部

TEL : 03-6811-3235 / MAIL : [pr@stemcell.co.jp](mailto:pr@stemcell.co.jp)